

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 児童発達支援センター きっずサポートてんま | | | | 公表日 | 2026年 1月 15日 |
|---------|----|--|----|-----|--|---|--------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 0 | | | |
| | 2 | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | 1 | 支援の充実のため、利用時の特性・療育内容 ・職員休憩時間を考慮し、柔軟な職員の配置を行っている | 現場支援を第一に人材が割り振るため、療育の準備などが慌しい 感染症による休暇取得を想定の職員配置の余裕が、現行の配置基準では困難 | |
| | 3 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | 利用時の発達特性や活動に合わせて、室内のレイアウトを変更している 視覚的、聴覚的支援の個別対応を行っている | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | 職員間で清掃担当し、美化に努めています | エアコン掃除の表面以外の部分は、日常的清掃は難しい。 | |
| | 5 | 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 0 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 0 | 出勤日時が変則的なので、退勤までに、それぞれの職員とミニカーフレッシュで、日々のPDCAの振り返りの時間を設けている | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | 定期面談を実施している 公表前に、それぞれの結果を話し合う会議を開催している | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | 営業日以外の土曜日に職場内研修を実施 | 外部研修(職場外研修)で資質向上を目指したいが、全員が受けすることは難しい オンデマンド研修の積極的活用を検討したい | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | | | |

| | | | | | |
|--|---|----|---|---|--|
| 供 与 | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | 子どもの状態に応じ工夫している | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 1 | 、 | 個別支援計画に基づいた個別活動を行うにあたり、準備のための時間や話し合いを増やし、支援を充実させたい |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 0 | 退勤時間を考慮して、関わりあったスタッフ間や上司と、振り返りによる考察を行えるように努めている。 | |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 0 | | |
| | 23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 0 | 行政、主治医、就学先の小学校、各福祉サービス等と連携を取っている。 | |
| | 26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 0 | 機関連携や保育所等訪問支援を活用し、出向く支援で、情報共有をしている 園からの見学による共有を行っている | |
| | 27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 0 | 意向に向け、就学先等の教育機関との情報共有、見学受け入れなどを行っている。 | |
| | (28~30は、センターのみ回答) | 5 | 2 | 市内に他の児童発達支援がないが、放課後等デイサービスとの連携がある | |
| | 28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させていているか。 | 7 | 0 | | |
| | 30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | -7 | 0 | 自立支援協議会に参加している 発達支援部会(子ども)に参加している | |
| | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | 1 | | |
| | 33 曰頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | 1 | 個別支援計画作成前の面談の中で、療育内容の振り返りと課題を、保護者と話し合いの上作成し、たたき台を作成している。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 1 | 保護者会講演会や、ペアレントトレーニングでの保護者交流、送迎の際の職員が介入した保護者同士の交流などを実施。 | 兄弟児の大半が乳幼児や小学生で、保護者の送迎や関わり等を伴う交流は、現状では困難。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 4 | 3 | 行事はないが、散歩など、近隣歩くを際、挨拶を行い、交流している | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 1 | 現在、医師の指示書の出ているアレルギー児の利用はない | 就立チェック/原材料確認などの記録を整備している |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 0 | 毎月の会議でヒヤリハットの内容を検討している | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | 0 | | |